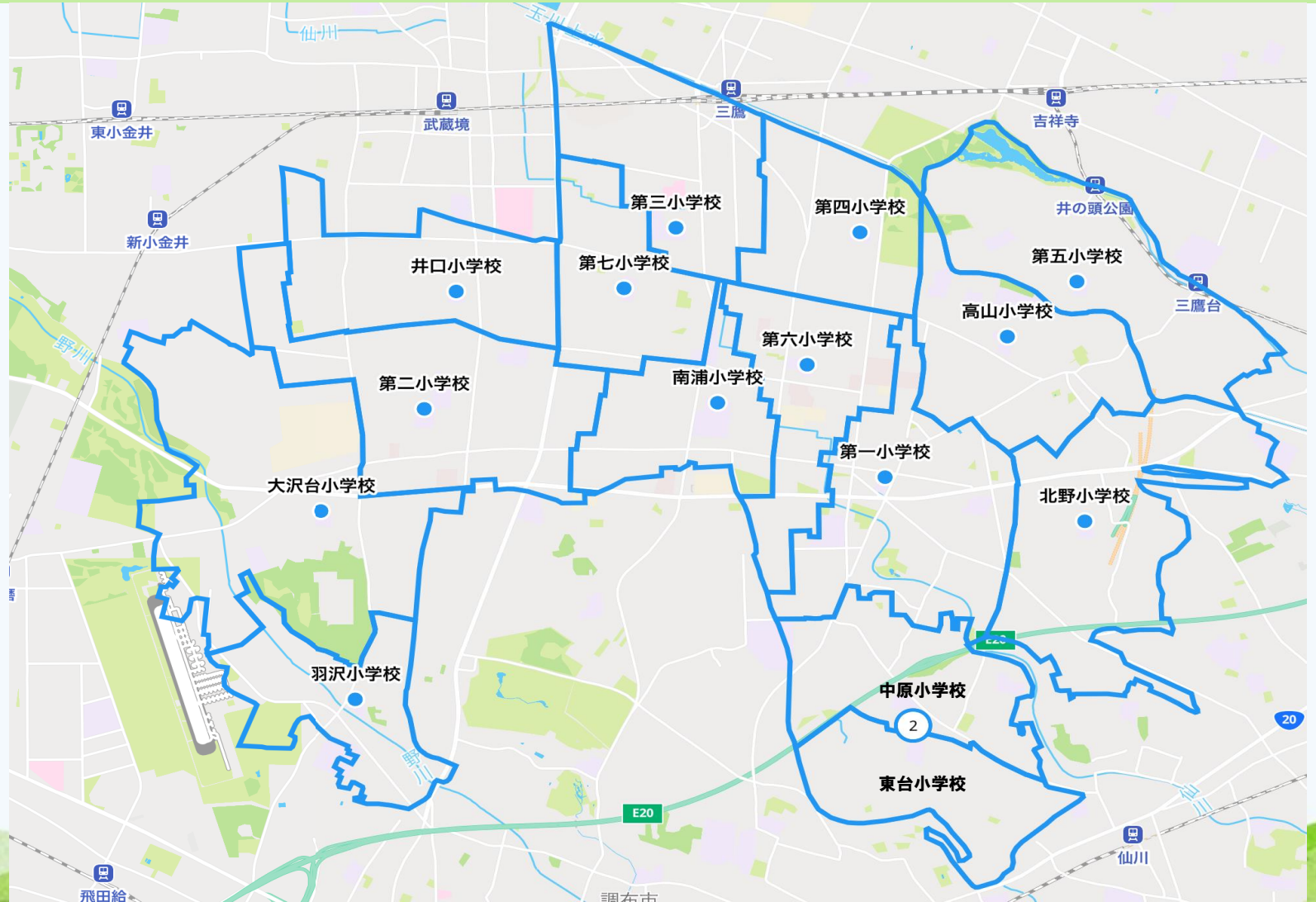
令和7年就学説明会

あ

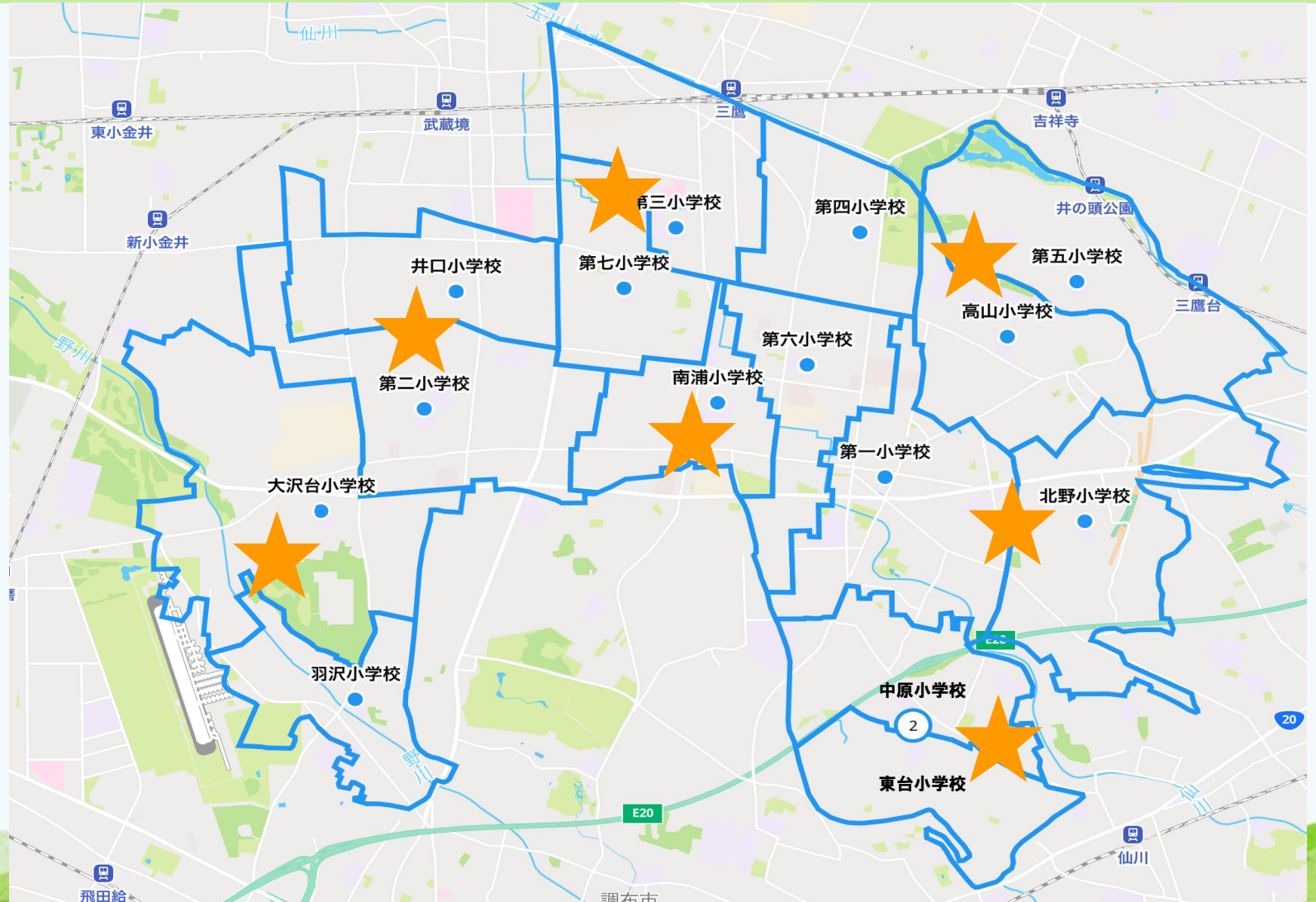
三鷹市の教育について

三鷹市教育委員会指導課

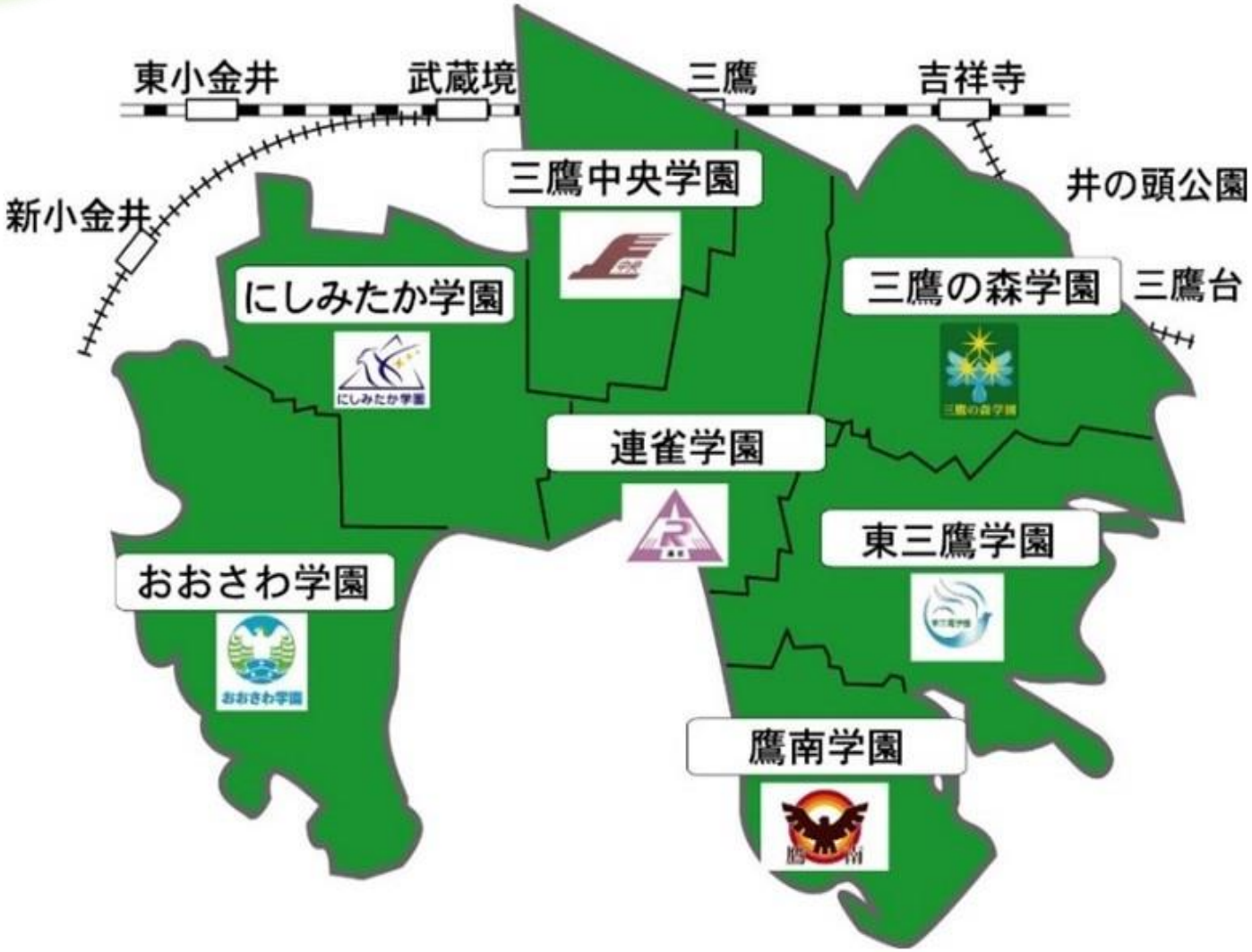
1 三鷹市の教育
15校の小学校があります



1 三鷹市の教育
中学校は7校あります



1 三鷹市の教育
コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育



学園名	開園年度	中学校	小学校
連雀学園	H. 20. 4月	一中	四小
			六小
			南浦小
にしみたか学園	H. 18. 4月	二中	二小
			井口小
三鷹の森学園	H. 21. 4月	三中	五小
			高山小
三鷹中央学園	H. 21. 4月	四中	三小
			七小
鷹南学園	H. 21. 9月	五中	中原小
			東台小
東三鷹学園	H. 20. 4月	六中	一小
			北野小
おおさわ学園	H. 20. 4月	七中	大沢台小
			羽沢小

1 三鷹市の教育
コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育

1 三鷹市の教育
学園で小・中一貫教育に取り組む先生方

三鷹市立小・中一貫教育校　小・中一貫カリキュラム
（令和5年度　更新版）
ー平成 29 年3月告示　学習指導要領　対応ー

作成方針	
国語	家庭・技術家庭（家庭分野）
社会	外国語（英語）
算数・数学	特別の教科　道徳
理科	特別活動
音楽	キャリア教育
図画工作・美術	三鷹地域学習
保健体育・体育	ICT教育

令 和 6 年 3 月
三　鷹　市　教　育　委　員　会

三鷹市立小・中一貫教育校　小・中一貫カリキュラムの活用について

1　三鷹市立小・中一貫教育校　小・中一貫カリキュラム活用の目的

全ての教員が、小・中学校９年間における各教科等の学習内容やその系統性について、具体的なイメージができるようにするとともに、担当する学年における教科等の指導の充実や指導方法の改善を図れるようにする。

（1）内容系統配列一覧表の活用
当該学年の学習指導を行う上で、どのような基礎・基本的な知識や技能、思考力、判断力、表現力等を下学年で習得しているのか、また上学年にどのようにつながっていくのかなどの指導内容の系統を理解するとともに、教員による動画（色）や ICT の活用（黒）を参考に検討する。

（2）単元・題材指導計画の活用
各教科等の指導においては、単元・題材を通して、どのような資質・能力を育むのかを明確にすることが大切です。その資質・能力を育むために、どのような見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びを実現するのか、どのように個別最適な学びと協働的な学びとの一体的な充実を図るのかを検討する。

2　三鷹市立小・中一貫教育校　小・中一貫カリキュラムの活用場面

（1）各学園・学校、児童・生徒の実態や地域特性に応じた「学園版カリキュラム」を各学園で作成し、保護者・地域と共有するとともに、改善・更新を重ねることにより地域とともに学園・学校で育成を目指す資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」を実現する。

（2）単元・題材を見通して、個別最適な学びと協働的な学びとの一体的な充実を図り、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学びの実現し、児童・生徒の資質・能力を育むための授業改善を学園・学校で組織的に推進する。

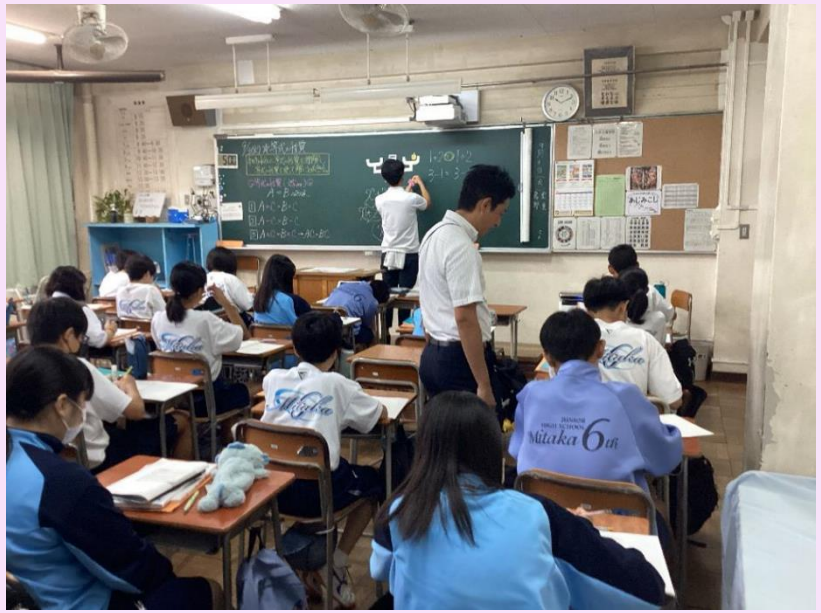
（3）学習ノート指導や、学習の見通し、振り返りの流れについて、発達段階を踏まえて緩やかに決めておくなど、学年や小・中学校間における指導の一体化を図るなどの工夫に生かす。

（4）各教科等の内容系統を鑑み、小・中相互乗り入れ授業の計画を立て、効果的な指導を行う。

（5）三鷹市立小・中学校教育研究会や学園研究、校内研究等において、つまずきを速やかに解消する指導や下学年の既習内容を意識した指導など各学年で身に付ける資質・能力の育成について効果的な指導を研究し、指導方法や学習環境の工夫・改善を図る。

小・中一貫カリキュラム

1 三鷹市の教育
学園で小・中一貫教育に取り組む先生方



小・中の教員による相互乗り入れ授業

一部教科担任制

1 三鷹市の教育
コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育

1 三鷹市の教育
教育活動を支援する地域・保護者の方々

放課後の居場所づくり

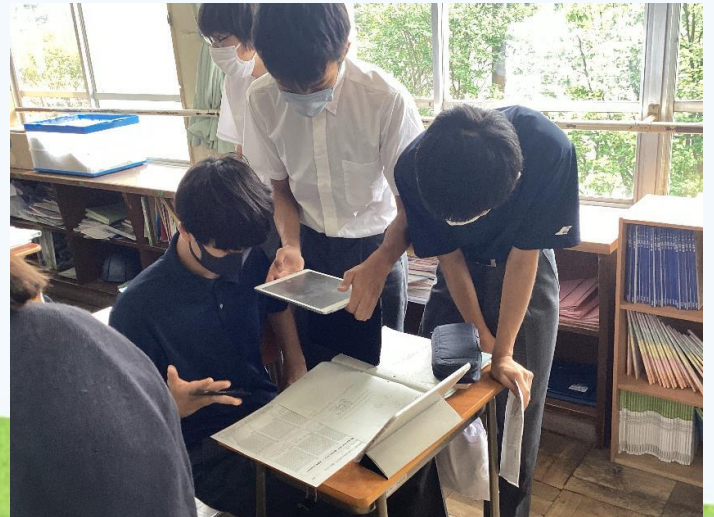
みたか地域未来塾

1 三鷹市の教育
教育活動を支援する地域・保護者の方々

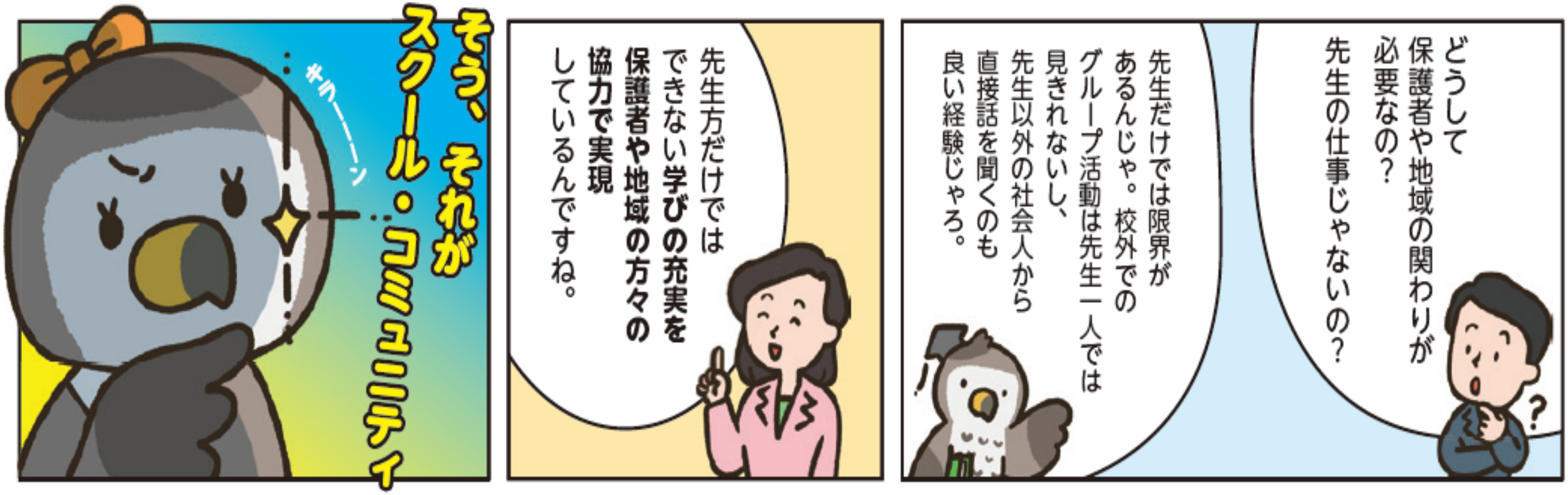
地域学習の講師

授業のサポート

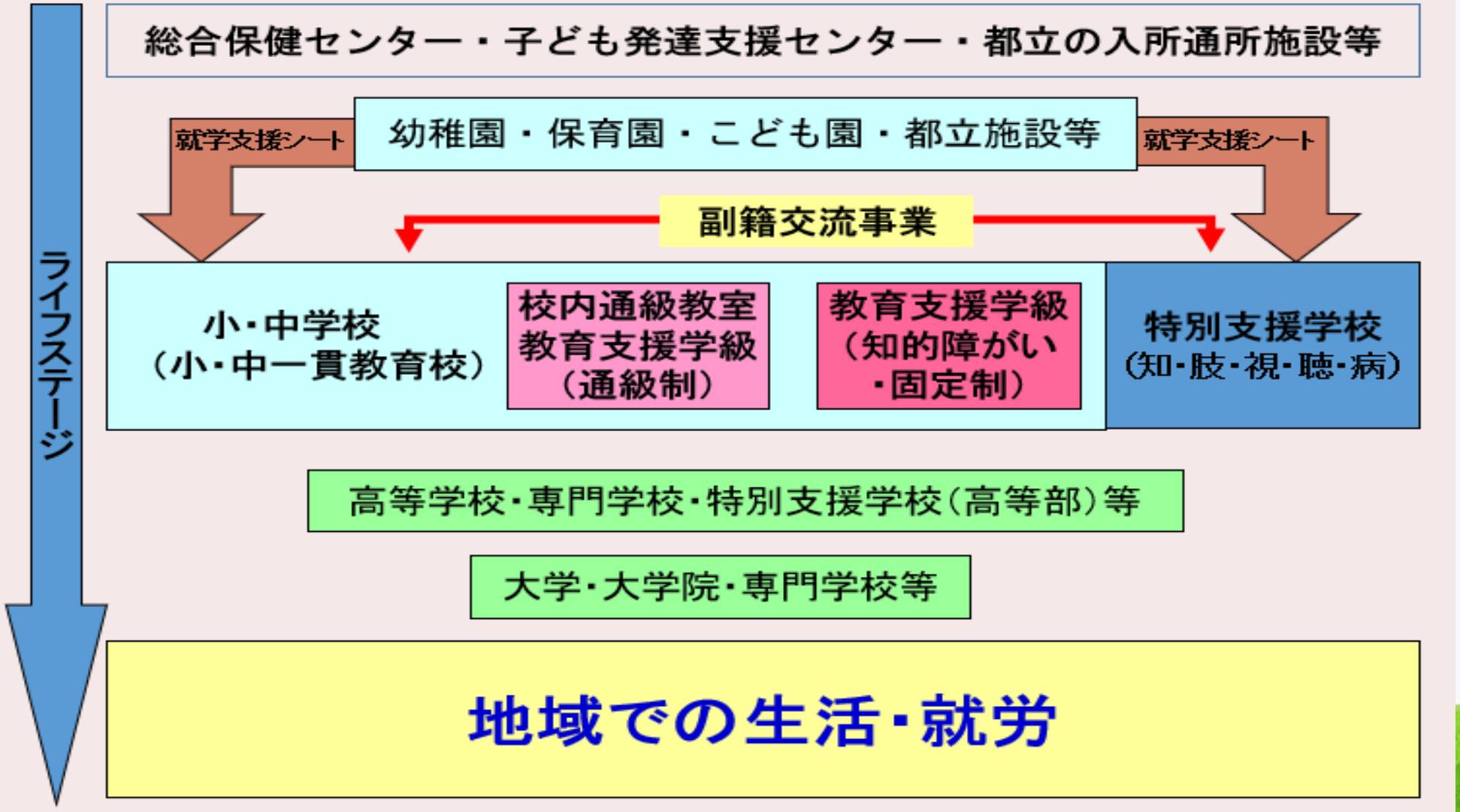
1 三鷹市の教育
学園の児童・生徒たちの交流



1 三鷹市の教育
コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育



2 三鷹市の特別支援教育
地域での自立を目指した支援・教育の流れ



2 三鷹市の特別支援教育

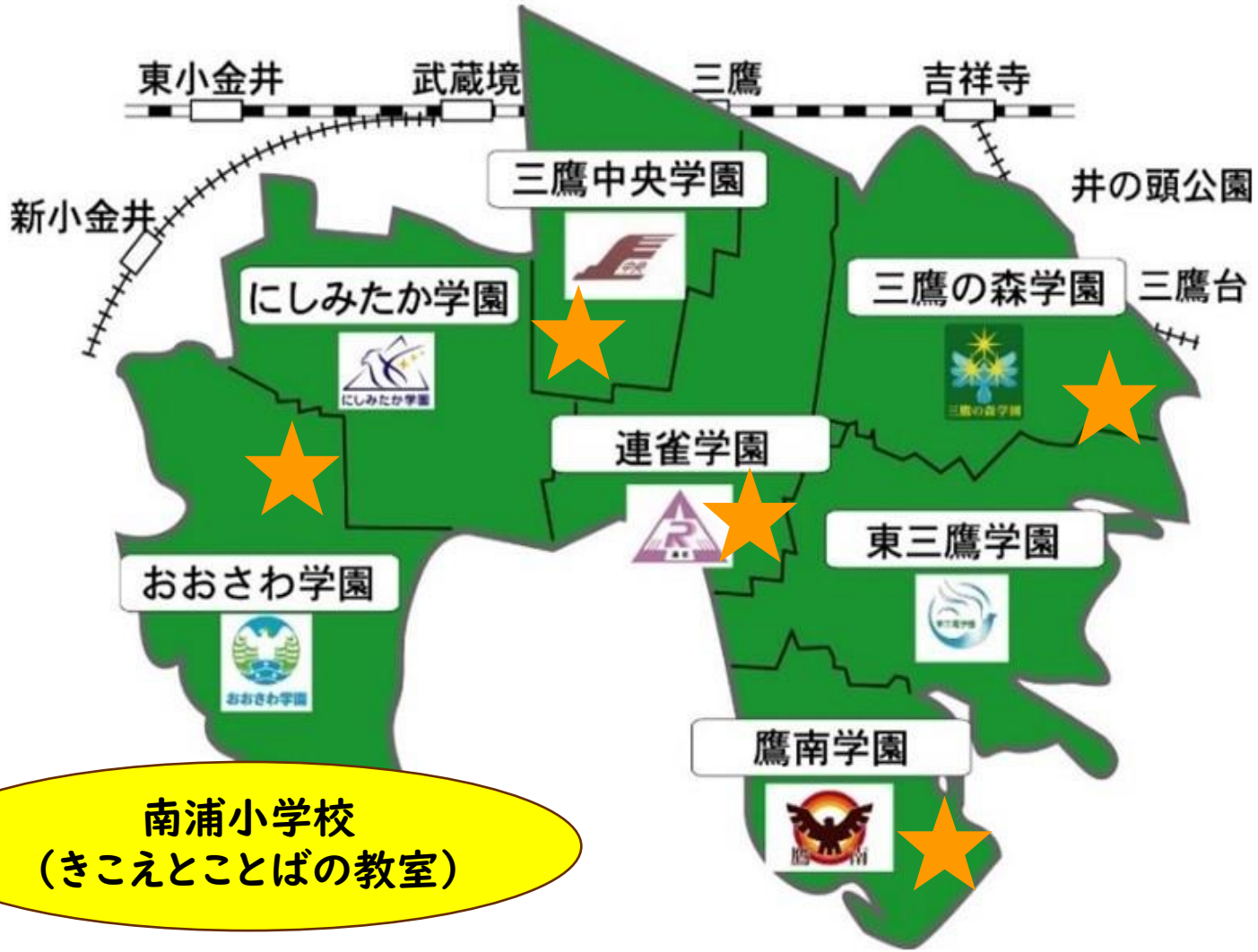
三鷹市に籍があるお子さんが、公立の学校に就学する場合

通常の学級	特別支援学級（知的障がい）	特別支援学校
・一斉指導の中で指示を聞いて自分で動く。 ・担任による配慮や支援はあるが、学習・生活は自分一人で判断し行動することが多い。	・小集団で指示を聞き、子どもの特性に応じた指導のもとで学習する。	・子どもの理解やペースに合わせた環境の中で個別の指導と支援を受けながら学習する。
35人で1学級	8人で1学級	
校内通級教室 （特別支援教室・情緒障がい等）		

三鷹市の場合は
- ＊調布特別支援学校（知的）
- ＊肢体不自由（小平特支、けやきの森学園）
- ＊視覚障がい（久我山青光学園　）
- ＊聴覚障がい（立川ろう、大塚ろう・　永福分室）
- ＊病弱（武蔵野台学園）

2 三鷹市の特別支援教育

校内通級教室（特別支援教室）と特別支援学級の設置校



南浦小学校
（きこえとことばの教室）

学園	校内通級教室	特別支援学級	
連雀	第四小	第六小（ふじみ学級）	
	第六小		
	南浦小		
東三鷹	第一小	（東八北）	（東八南）
	北野小		
鷹南	中原小	東台小（くすの木学級）	
	東台小		
三鷹の森	第五小	高山小（わか竹学級）	
	高山小		
三鷹中央	第三小	第七小（さくら学級）	
	第七小		
にしみたか	井口小		
	第二小	大沢台小（わかば学級）	
おおさわ	大沢台小		
	羽沢小		

令和7年就学説明会

あ

三鷹市の教育について

三鷹市教育委員会指導課

2 三鷹市の特別支援教育

三鷹市に籍があるお子さんが、公立の学校に就学する場合

特別支援学校

★子どもの理解やペースに合わせた環境の中で個別の指導と支援を受けながら学習
★障がいに基づくの困難さを改善・克服するために、「自立活動」という特別な指導領域

三鷹市の場合は…調布特別支援学校（知的）
＊肢体不自由（小平特支、けやきの森学園）
＊聴覚障がい（立川ろう、大塚ろう・　永福分室）
＊視覚障がい（久我山青光学園　）
＊病弱（武蔵野台学園）

【知的障がい教育】
・知的障がいの子どもたちのための教科の内容を中心とした教育課程を編成
・一人ひとりの言語面、運動面、知識面などの発達の状態や、社会性などを十分把握
・生活に役立つ内容を実際の体験を重視
・個に応じた指導や小集団での指導

2 三鷹市の特別支援教育

三鷹市に籍があるお子さんが、公立の学校に就学する場合

特別支援学級

★小集団で指示を聞き、子どもの特性に応じた指導のもとで学習
★体力づくりや基本的な生活習慣の確立、日常生活に必要な言語や数量、
　生活技術などの指導
★学校全体で、「交流及び共同学習」を工夫して推進

小集団、例えば…
　〇学年に応じたグループ
　〇人数を均等に分けたグループ
　〇活動内容別に分けたグループ
　〇課題別に分けたグループ

2 三鷹市の特別支援教育

三鷹市に籍があるお子さんが、公立の学校に就学する場合

校内通級教室（特別支援教室）

★全ての小学校に設置。
★各校で情緒障がい等課題による児童の特性に応じた通級指導。
★拠点校から教員が各校へ巡回して指導。
★通級の教員と在籍校教員が、お子さんの情報を共有しながら連携し支援。
★指導期間は原則１年間。毎週決まった曜日に2時間程度の取り出し指導。

例えば…
・落ち着きがなくじっとしていられにことがある。
・特定のものへのこだわりが強い。
・場の雰囲気を把握したり理解しにくい。

南浦小学校
（きこえとことばの教室）